

Dwonderland

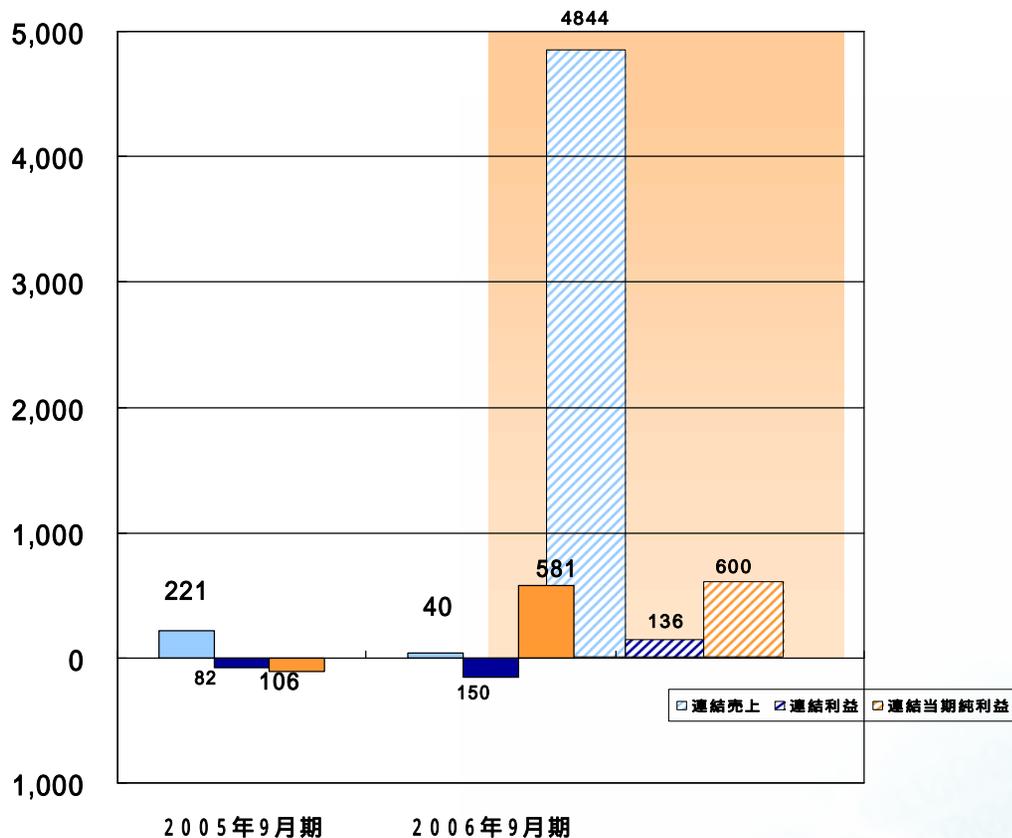
**2006年9月期決算説明会資料
2006.12.26**

於：JASDAQ証券取引所 セミナー室

株式会社ディーワンダーランド

2006年9月期決算概要

(百万円)



□ 単体売上 ■ 単体利益 □ 単体当期純利益

売上

単体では前期に受注した大型システム開発案件の遅延により、今期の売上計上ができず来期へのずれ込みが発生。

子会社の大黒屋においては、競合他社及び新規参入業者の増加がみられ、買取価格競争が激化しているが、昨年9月オープンの大阪ミナミ店が売上に寄与。販売好調に。

収益

単体では売上高減少により経常損失150百万円となったが、純利益については、経常損失に本事業年度から適用された減損に係る会計基準に基づき減損損失521百万円、受注損失引当金200百万円を計上したことによる特別損失742百万円、法人税等調整額1,419百万円などを加減した結果、581百万円となった。

子会社 大黒屋においては、販売が好調であったことから営業利益は919百万円となったが、買取価格の競合が激化し、売上高総利益率は低下する傾向にある。

2006年9月期決算概要(参考)

株式会社大黒屋の最近事業年度における業績の動向

決算期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成18年9月期 (中間)
売上高	6,948百万円	7,845百万円	9,185百万円	4,796百万円
売上総利益	2,805百万円	3,097百万円	3,372百万円	1,899百万円
営業利益	1,582百万円	1,759百万円	1,641百万円	919百万円
経常利益	1,477百万円	1,682百万円	1,685百万円	912百万円
当期純利益	807百万円	1,029百万円	924百万円	533百万円

(平成16年3月期及び平成17年3月期は、税務申告ベースの業績)

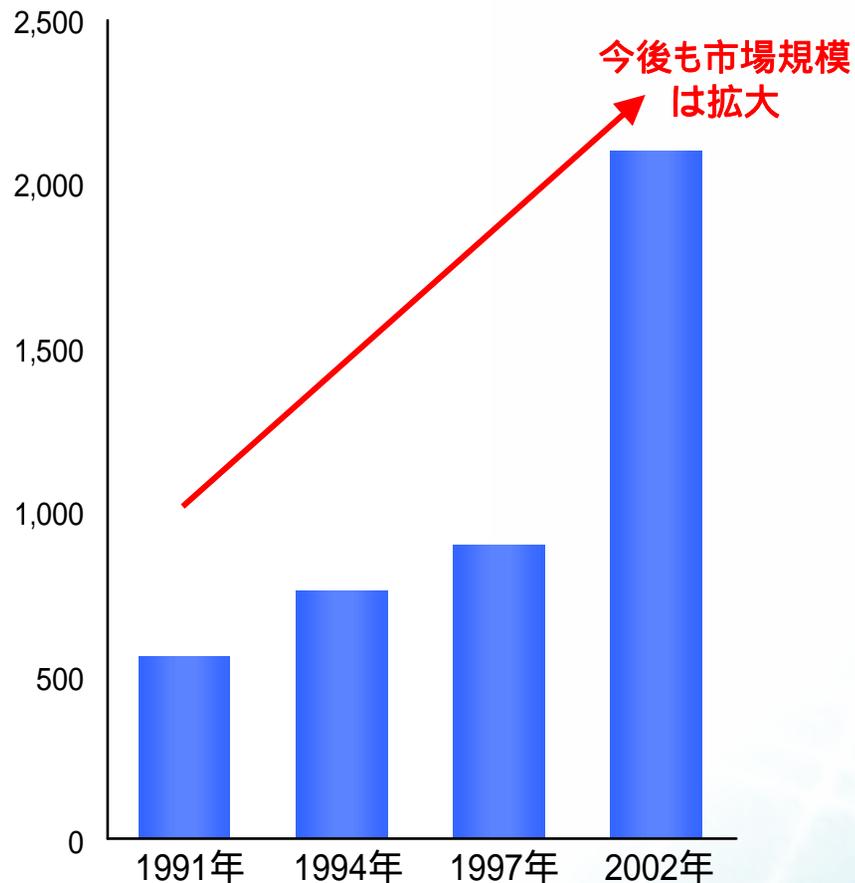
1. DWオークション事業
2. CTIソリューション事業
3. システムインテグレーション事業

DWオークション事業

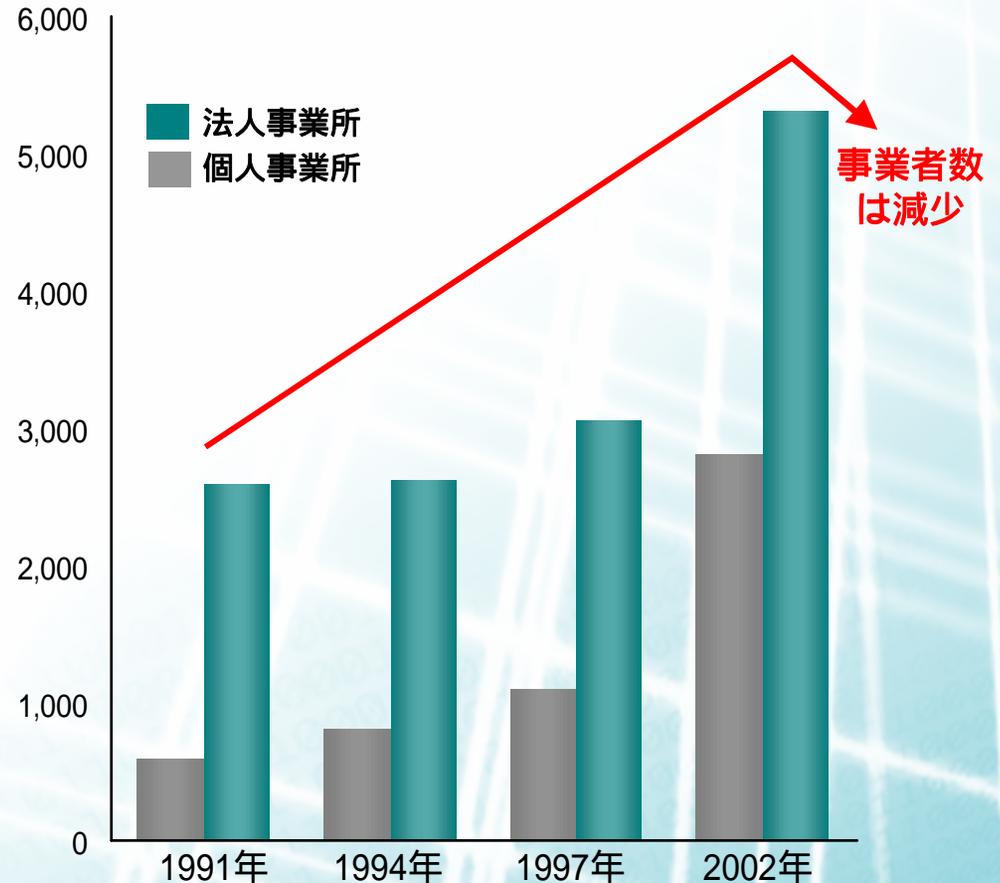
リサイクル品市場の状況

リサイクル品市場は毎年成長し、特に近年は成長率がさらに高くなっている。
それに伴い事業者数も増加しているが、大規模チェーン展開を行う企業はまだ少数。
今後、市場拡大は続くが、仕入力の格差等により、徐々に事業者の淘汰が進むと考えられる。

単位:億円 リサイクル品の市場規模推移



単位:事業所 リサイクル事業者数の推移



出所: 経済産業省, 6 商業統計

需要と供給

- 消費者側の購買ニーズは拡大している
- 供給側もまだ拡大余地がある

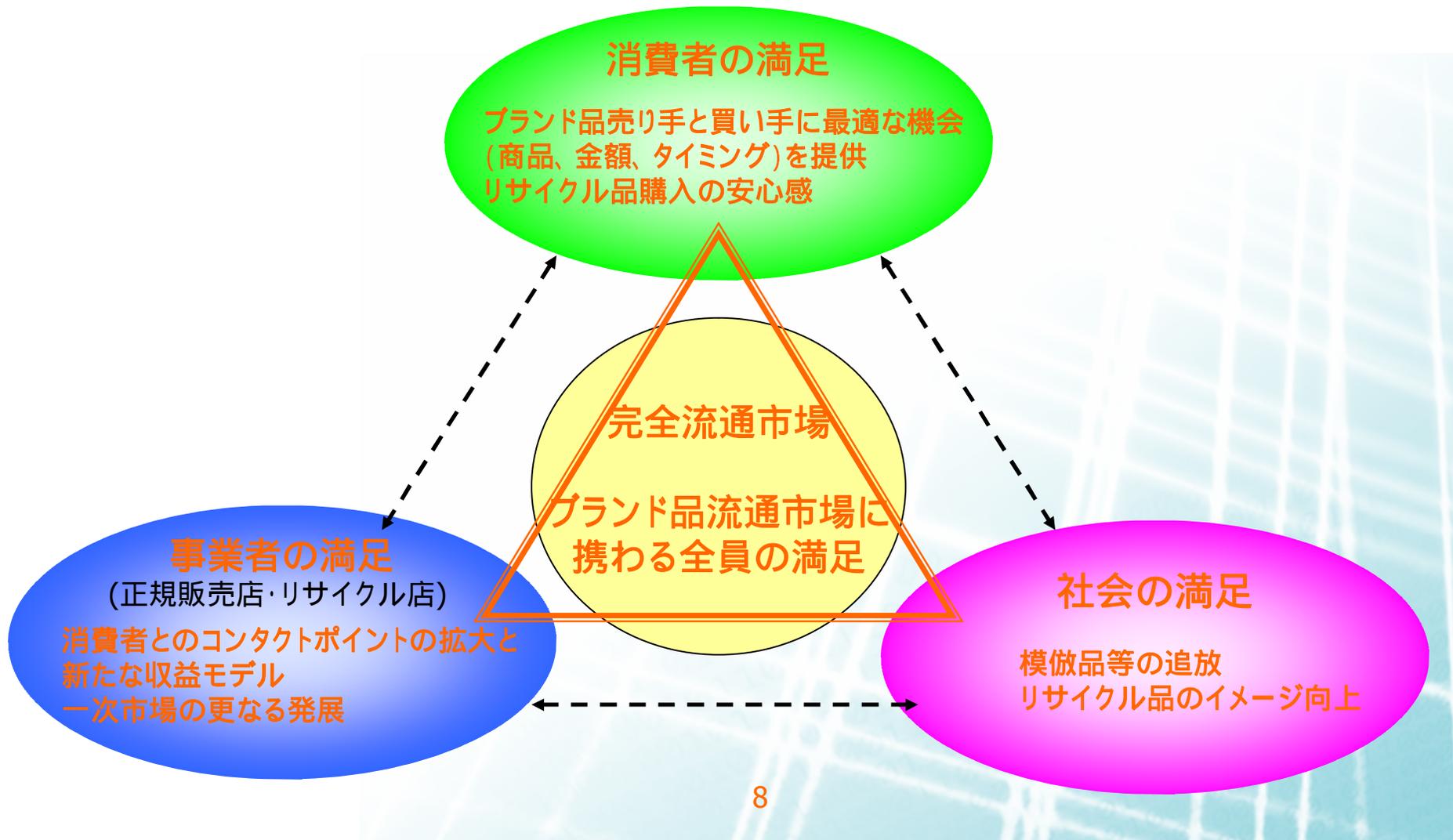
インターネット市場

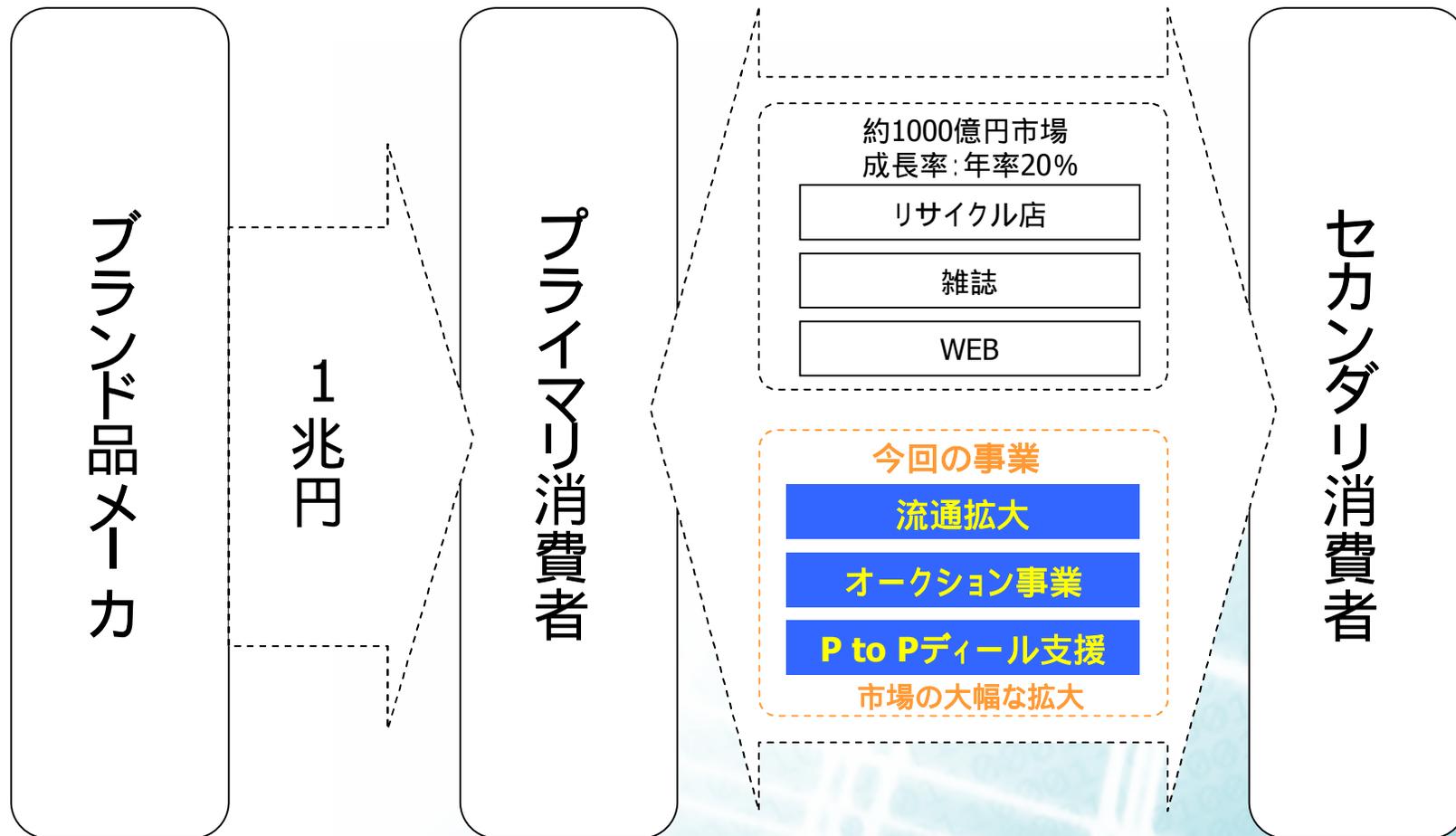
- 現状は未成熟であるが有望

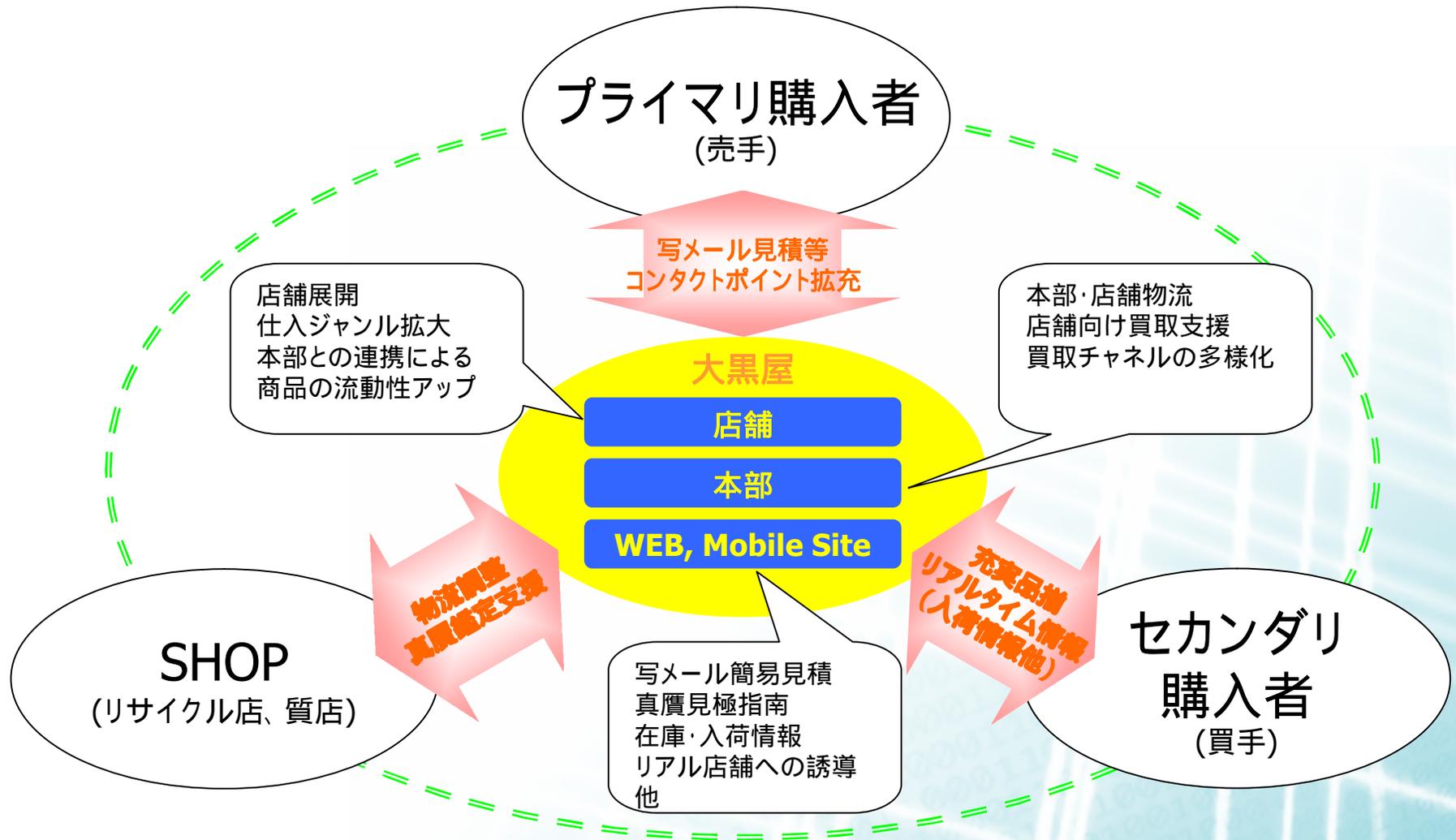
競合

- 現状は群雄割拠の状態
- 今後業界では整理統合が起き、多くの事業者は徐々に淘汰される

ブランド2次品の完全市場の創造

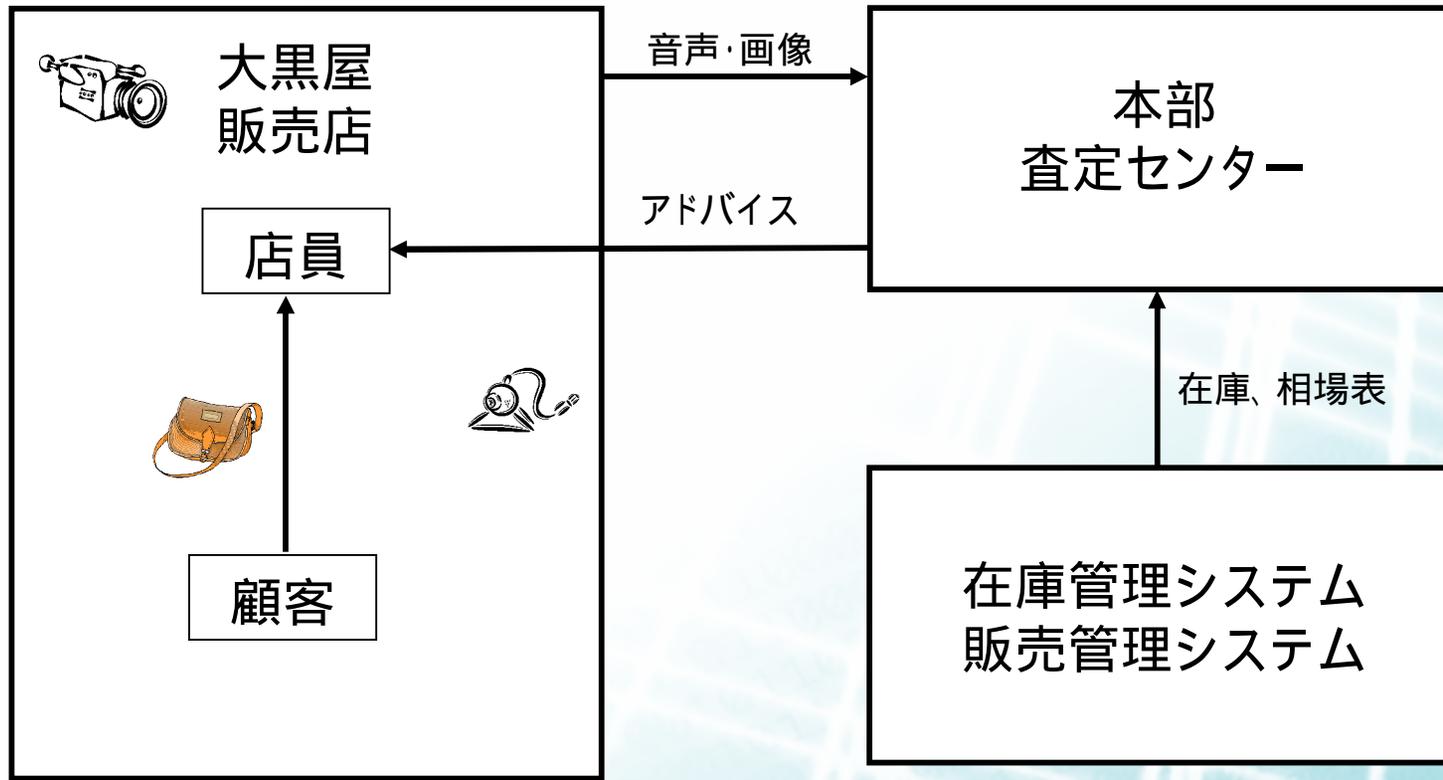






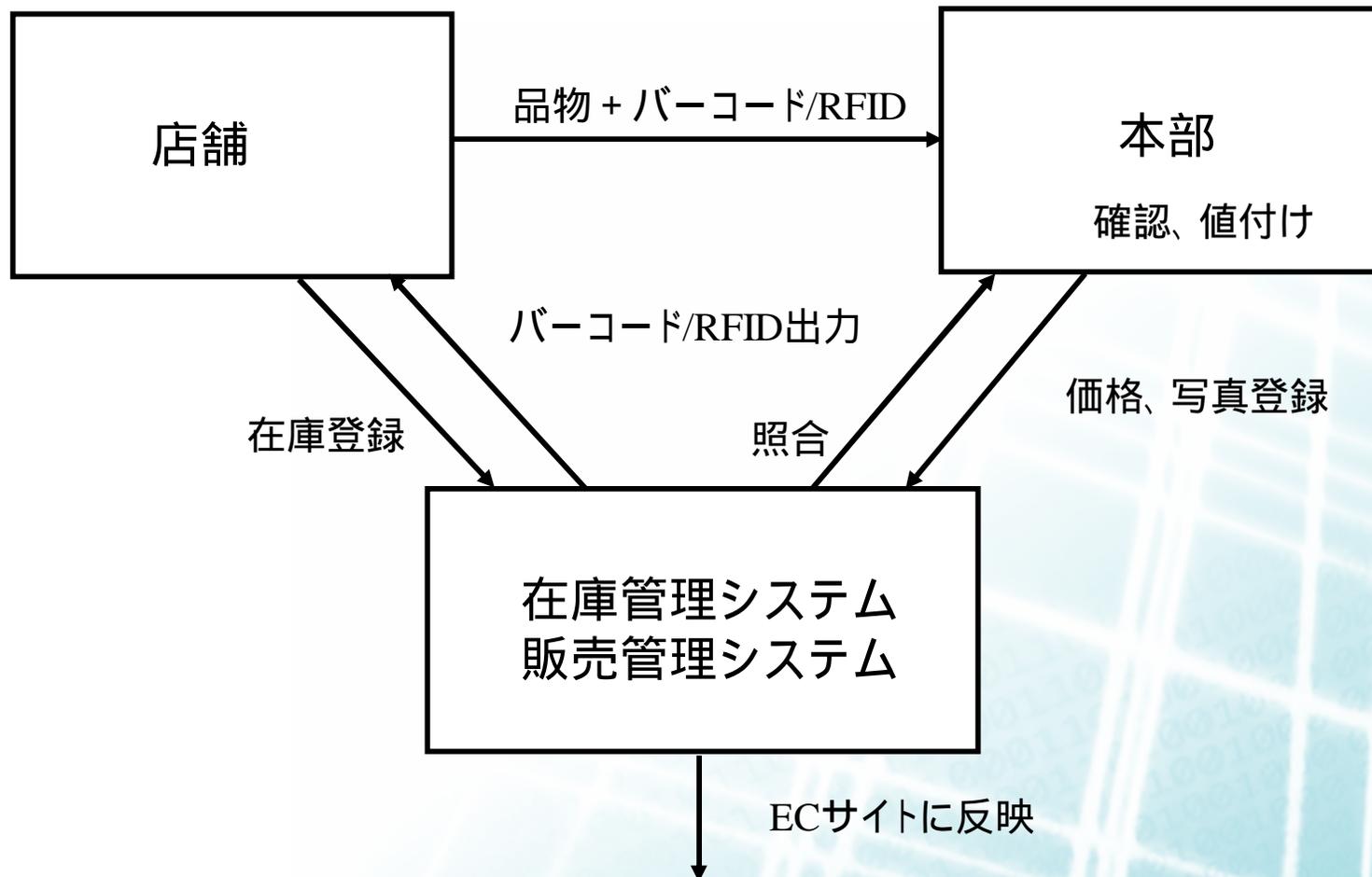
リモート買取支援システム

- 買取業務の効率化、買取力強化
- 大黒屋内での展開、多店舗化支援



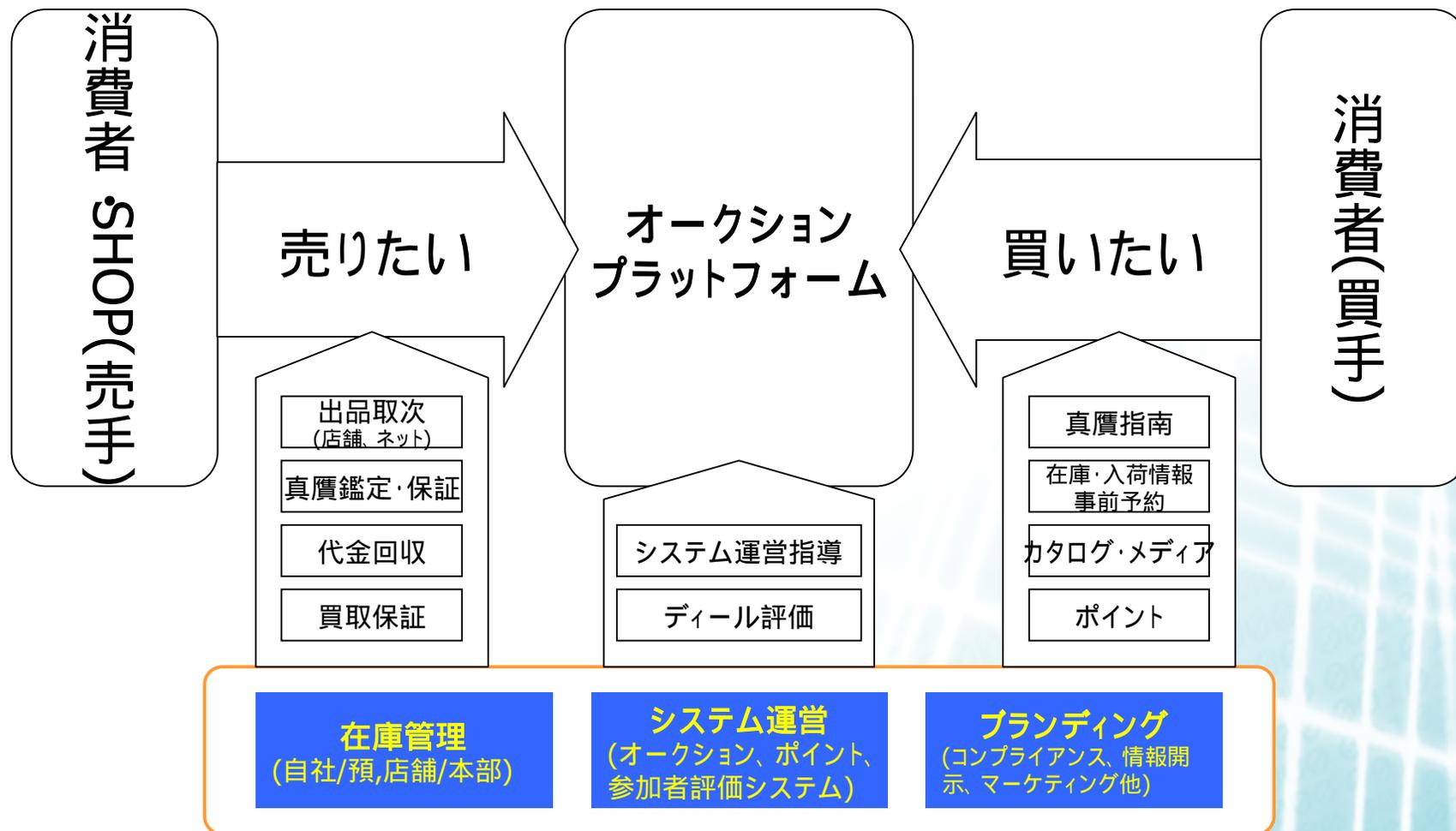
リモート買取支援システム概念図

- 基幹業務を支援
- 買取からECサイトへの出品まで一貫したシステム化



フェーズ オークションプラットフォーム

Dwonderland



D Wonderland

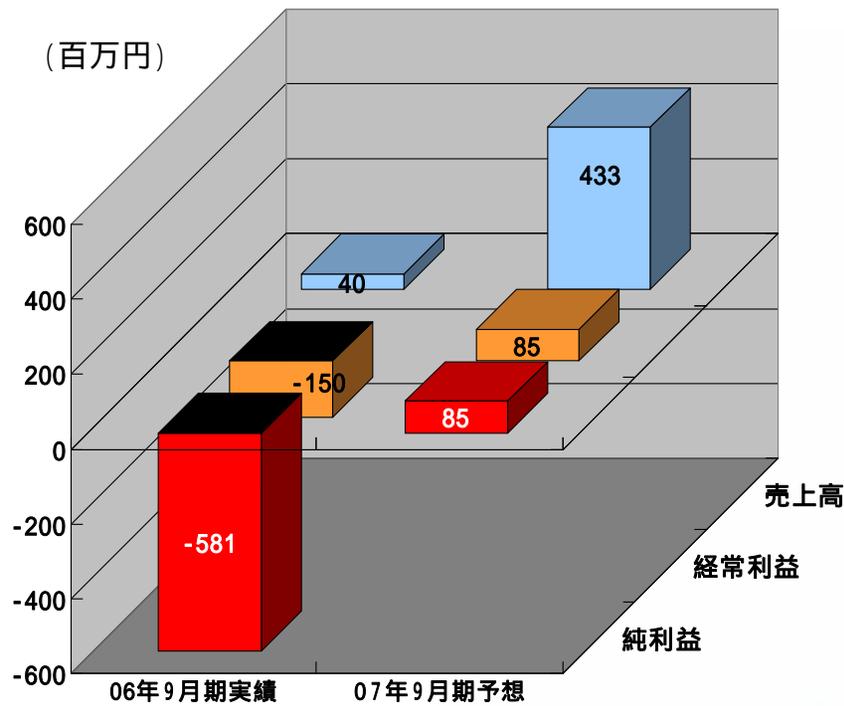
CTIソリューション事業

システムインテグレーション事業

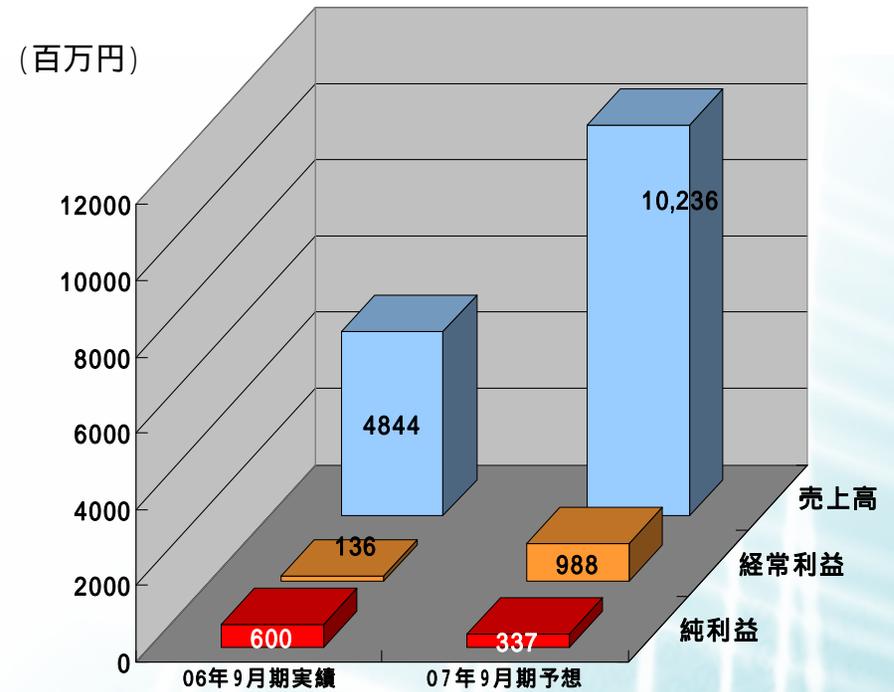
- **ソリューションの概要**
 - テレマーケティングに求められるニーズの高度化、多様化に対応
 - 業務的にCTIに求められる機能は全て装備
 - 安価かつ短期間での本番稼動
- **提供するサービス**
 - 要件分析、業務分析、システム企画
 - システムインテグレーション
 - システム運用支援・ASP
- **主な適用分野**
 - インバウンド:商品の受注(通販など)
 - アウトバウンド:営業、督促など

売上と収益計画 (2006年9月期～2007年9月期)

個別



連結



本資料は将来予測の陳述を含んでおります。歴史的事実以外の記載で当社の信念及び期待に関する記載を含む記載は将来予測の陳述です。

これらの記載は、現在の計画、予測及び予見に基づいて作成されております。将来予測の陳述は、それらの記載がなされた日付現在に限りそれを伝えるものであり、それらのいずれの関しても、新しい情報又は将来の事象を考慮して更新する義務を負うものではありません。

将来予測の陳述は、それに付随するリスク及び不確実性を有しています。多くの重大な要因により、実際には、将来予測の陳述の記載とは異なる結果又は結末が生じる可能性があります。